

〈近況〉

新本社工場完成し生産体制を拡充 マイクロねじ部品、医療用ねじ部品など新分野に進出

東海部品工業(株)

東海部品工業(株) (盛田延之社長, 本社工場・静岡県沼津市双葉町9-11-12) は自動車用ねじ部品メーカーとして知られるが, 生産体制の増強と新分野への進出を近年, 積極的に進めている。

本社工場は昨年8月に, 現在地に新社屋および工場棟を建設し全面移転した。平成11年にはマイクロネジ事業部として伊豆市に天城工場をオープンし, 同15年にはチタン事業部も新たに発足, 翌16年には医療用具製造許可22BZ5042を取得するとともに同18年に医療機器・製造の品質保証規格であるISO13485を取得, 第2種医療機器製造販売業として各種医療用器具と部品の研究・開発・製造まで業容を拡大している。

完成した新本社工場は, 自動車・二輪車等の輸送機械用ねじ関連部品として六角ボルト, 特殊ボルト, 精密ボルト, ドライブシャフト, ブレーキ関連部品, ハイブリット関連部品, 電装関連部品, シート関連部品, 各種精密鍛造部品を2,000点余種にわたって生産しており, 新工場完成と最新設備の増強により生産の効率化と品質管理体制の一層の強化が図られた。おもな設備としてパーツフォーマー等冷間鍛造機, ローリング及びトリミングマシン他各種二次加工機はじめ, 画像選別機, 環境負荷物測定器などまでを設備している。

天城工場(静岡県伊豆市上船原747-2)は, マイクロネジ部門として平成11年に開設し10,000平方メートルの敷地を擁する同工場には最新鋭機械が導入され, 現在, マイクロネジ部品(ハードディスク用・携帯電話用・模型用・その他)およびマイクロパーツ(電装関連部品・機能部品・その他)を1,000余種に及び生産している。

同工場内に平成15年に発足したチタン事業部では, 64チタン材などによる医療用ねじ及び部品を生産しており, 生産品目としては手術用部品であるリーマー, デスプゲージ, タップ, レンチ, ドリル, ドライバー, 固定ピン, ガイドピンなど,



■完成した新本社工場



■マイクロネジ及びマイクロパーツ(上)と各種医療用ねじ部品(下)

インプラント製品としてプレート, コネクター, 人工歯根, 頭蓋骨用ネジ, 骨固定用スクリューなどにわたる医療用部品を生産している。

また同社の新しい事業として, 天城工場敷地内の一角で, 豊かな自然と環境を活かした, 自然環境の研究や「農業事業」も展開している。現在, 蓮の花や自然薯の栽培が行われているが, その狙いは若いスタッフが豊かな自然の中から“自由で広大無限な発想”が生まれることを期待し, その可能性と将来の“夢”を具現化してもらうことにある。夢と感動のある遊び心と豊かな感性の醸成を大切に前進している。

同社の創業は昭和22年(1947年)10月25日, 本社工場および天城工場ともに品質ISOと環境ISOを取得している。従業員約70名。